

東京工業大学リベラルアーツ研究教育院
教授公募

公募人員：下記専門分野から教授1名

専門分野：メディア論

職務内容：

- 1) リベラルアーツ研究教育院が実施する全学（学士課程、修士課程、博士後期課程）のリベラルアーツ教育
- 2) 環境・社会理工学院社会・人間科学系社会・人間科学コースにおける修士課程および博士後期課程の学生の教育と研究指導
- 3) 自身の専門分野における先端的な研究とそれを生かした社会貢献活動
- 4) 1) から3) に関連する管理運営業務、全学の管理運営業務

応募資格：下記の条件を満たしている方

- 1) 博士の学位もしくはそれに相当する能力を有すること。
- 2) 東京工業大学のリベラルアーツ教育に取り組む熱意と能力を有すること。
- 3) 大学院社会・人間科学系社会・人間科学コースの学生の教育と研究指導に取り組む熱意を有すること。

雇用形態：常勤（リベラルアーツ研究教育院所属、環境・社会理工学院社会・人間科学系社会・人間科学コース担当）

着任時期：平成30年4月1日以降できる限り早い時期

任期：なし（定年65歳）

給与体系：年俸制（本学年俸制適用職員賃金規則による）

提出書類：

- 1) 履歴書（写真添付、学歴（高等学校以降）、職歴、学位、受賞歴、連絡先（メールアドレスを含むこと））
- 2) 職務経歴書
- 3) 研究業績調書（論文リストは査読付きとそれ以外に分ける。著作リストは単著・共著を明記。招待講演などの業績リスト、学会活動などの社会貢献、競争的研究資金の獲得状況などを記載）
- 4) 研究と教育に関する業績の説明（1,000字程度、冒頭に応募する専門分野

を明記)。

- 5) 研究計画と教育に関する抱負 (1,000 字程度、着任可能時期を明記)
- 6) リベラルアーツを学ぶために学部 1・2 年生に薦める書籍 2 冊の書名と、その推薦の理由 (合計で 500 文字以内を目安に)
- 7) 修士論文研究あるいは博士論文研究として指導が可能なテーマ例 (3 つ)
- 8) サマリーシート (次の URL からワードファイルをダウンロードすること) に必要事項を記入したもの
<http://www.liberal.titech.ac.jp/koubo/2017-ILA-summary-sheet.docx>
- 9) 1) から 7) の電子データを PDF 形式で、8) の電子データ (ファイル名を応募者の氏名 (Toko Taro などアルファベットで記載) に変更して保存すること) をワード形式で収めた電子媒体 (CD-R 等)
- 10) 主たる業績を示す著作、論文等 (合計 5 点以内)
- 11) 参考意見を伺える方 (4 名) の氏名、所属、連絡先 (電話番号、e-mail アドレス) 海外の方が 2 名含まれることが望ましい。

応募締め切り：平成 29 年 9 月 11 日 (月) 必着。提出書類の 1) から 8)、および、10) と 11) の印刷体各 1 部と、9) の電子媒体 (CD-R 等) 1 つを同封し、「リベラルアーツ研究教育院教授 (メディア論) 公募応募書類在中」と朱書きの上、簡易書留で送付する。(直接持参不可)

提出先：〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1 W9-119
国立大学法人東京工業大学 大岡山第二事務区
リベラルアーツ研究教育院事務グループ
電話：03-5734-2107

問い合わせ先：リベラルアーツ研究教育院長 上田紀行
E-mail：koubo2017-media@ila.titech.ac.jp
電話：03-5734-2259

- 備考：**
- 1) 著作以外の提出書類は返却しない。著作の返却を希望する場合には応募書類に返送先住所等、必要事項を記入した返送用の着払い伝票を同封すること。応募書類に含まれる個人情報には国立大学法人東京工業大学の定めに従い本選考にのみ使用し、他の目的には一切使用しない。
 - 2) 講演あるいは模擬講義を依頼することがあるが、その際の来訪旅費は自己負担になる。
 - 3) 東京工業大学では、多彩な人材を確保し、大学力・組織力を高めるため、すべ

ての研究分野において、外国人や女性の参画する均等な機会を確保している。

- 4) 本学着任に際して、スタートアップのための経費支援を行う学内制度があり、その制度を利用できる可能性がある。